

●社会福祉法人α Version 7.505

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ Windows10 Creators Update に対応しました。

- 印刷処理時に印刷レイアウトが崩れる問題を改善しました。

◆ 登録・入力

➢ 仕訳入力

- ・一括修正後の修正仕訳の確認画面で、税額・消費税が変更されている場合、税額・消費税の欄の背景色を黄色に変更しました。

➢ 伝票入力

- ・新規伝票入力時、1行削除できるように対応しました。  
借方の金額欄にカーソルを止め、右クリックをすることで1行削除が表示されます。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“社会福祉法人db (VERSION:7.505) の変更点”を参照してください。

# 社会福祉法人 d b (VERSION:7.505) の変更点

## 修正

### I. 導入・更新

#### 1) 財務マスターコンバージョン d b

- ・29年改正コンバージョンで、27年改正時に追加した科目を明細拡張している場合、コード末尾「80」の科目が消されていたのを修正しました。

[27年改正追加科目]

介護保険事業収益	
08050900	介護予防・日常生活支援総合事業利用料収益
08080100	事業費 収益
08080200	事業負担金収益(公費)
08080300	事業負担金収益(一般)
保育事業収益	
0b050100	施設型給付費収益
0b050200	利用者負担金収益
0b060100	特例施設型給付費収益
0b060200	利用者負担金収益
0b070100	地域型保育給付費収益
0b070200	利用者負担金収益
0b080100	特例地域型保育給付費収益
0b080200	利用者負担金収益
0b090100	委託費 収益
0b0a0100	利用者等利用料収益(公費)
0b0a0200	利用者等利用料収益(一般)
0b0a0300	その他の利用料収益
障害福祉サービス等事業収益	
0d010600	地域相談支援給付費収益
0d010700	特例地域相談支援給付費収益
0d010800	計画相談支援給付費収益
0d010900	特例計画相談支援給付費収益
0d020200	障害児通所給付費収益
0d020300	特例障害児通所給付費収益
0d020400	障害児入所給付費収益
0d020500	障害児相談支援給付費収益
0d020600	特例障害児相談支援給付費収益

#### 29年改正コンバージョン前

科目名称		
保利用収益／一		01
保) 他利用収益		01
保) 他利用収 1		80
保) 他利用収 2		81
保) 他利用収 3		82

#### 29年改正コンバージョン後

保) 他利用収 1 (80) が消えていました。

科目名称		
保利用収益／一		01
保) 他利用収益		01
保) 他利用収 2		81
保) 他利用収 3		82

◎該当科目を明細拡張されていない場合は問題ありません。

※すでに29年改正にコンバートされているマスターのうち、該当科目を明細拡張されている場合は、前回コンバート時に会社コードを変更し保管しているマスターに対し、再度コンバートをかけてください。

※前回コンバート時に保存したマスターがない場合

財務マスターコピーで過年度マスターを当年マスターとしてコピーし、コピーしたマスターを翌期更新後、コンバージョンを行ってください。

### II. 決算

#### 1) 内訳表

##### ① [F3 Excel 出力] / 取込

- ・社会福祉法人の部門設定業務で集計部門を設定している場合、「CSV出力(財務諸表等入力シート取込用)」作成時に“無効な引数が発生しました。”と表示され作成できなかったのを修正しました。



# その他改良・修正

## I. 登録・入力

### 1) 仕訳入力

#### ①検索「F4一括修正」

- 一括修正後の修正仕訳の確認画面で、税額・消費税が変更されている場合、税額・消費税の欄の背景色を黄色に変更しました。

修正前の仕訳										
番号	日付	伝票	借方	貸方	摘要	金額	税額	消費税	実事	手形番号
2	04.01					2,000,000		95,238円*		
		普通 預金 2		売上 高 1						

修正後の仕訳										
番号	日付	伝票	借方	貸方	摘要	金額	税額	消費税	実事	手形番号
2	04.01					2,000,000		148,148円*		
		普通 預金 2		売上 高 1						

- 内部取引の一括修正に対応しました。

一括修正項目入力

日付: [ ] ⇒ [ ]  月のみ修正(不正な日付[02.31等]になる仕訳は対象外。)

伝票: [ ] ⇒ [ ]  伝票番号取消

借方部門: [ ] ⇒ [ ]  借方部門取消 借方工事: [ ] ⇒ [ ]  借方工事取消

貸方部門: [ ] ⇒ [ ]  貸方部門取消 貸方工事: [ ] ⇒ [ ]  貸方工事取消

借方: [ ] ⇒ [ ]

貸方: [ ] ⇒ [ ]

金額: [ ] ⇒ [ ]

消費税仕訳区分: (なし) ⇒ (なし)

税率: (なし) ⇒ (なし)

税区分: (なし) ⇒ (なし)

-----: [ ] ⇒ [ ] 特定収入: (なし) ⇒ (なし)

摘要(40): [ ]

[Tab:摘要検索] ⇒ [ ]  摘要取消

内部取引: [ ] ⇒ [ ]

手形番号: [ ] ⇒ [ ]

手形期日: [ ] ⇒ [ ]

付箋: [なし] ⇒ [なし]  付箋取消[コメントも含む]

仕訳確定:  仕訳を確定する  確定仕訳を未確定にする

修正開始[F4]    キャンセル    全削除[F11]

仕訳取消[F9]

#### ②伝票入力

- 新規伝票入力時、1行削除できるように対応しました。

借方の金額欄にカーソルを止め、右クリックをすることで1行削除が表示されます。

※修正時は、複合仕訳のみ1行削除が有効です。

単一仕訳は従来通り [F4 仕訳取消] を使用してください。

※1行削除直後、行は詰まりません。再度伝票を呼び出した場合は詰めて表示します。

振替伝票				伝票番号		06月20	
金額	消費	借方					
1,000,000		売掛金					
2,000,000		金					
3,000		金					

1行コピー

1行貼り付け

1行削除

振替伝票				伝票番号		06月20	
金額	消費	借方					
1,000,000		売掛金					
3,000,000		売掛金					

### ③その他

- ・入力済の内部取引区分の入った仕訳を別の科目に修正した際には、その仕訳の内部取引区分をクリアするように変更しました。

※修正後の科目が内部取引対象科目であっても内部取引区分はクリアします。

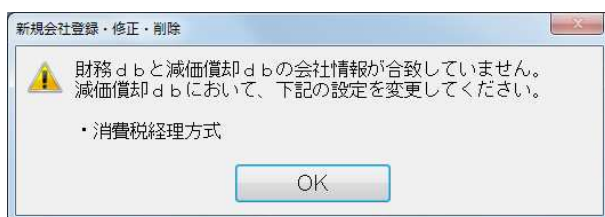
- ・ [F4 入力設定] で伝票番号「なし」に設定していても、マウスでクリックして入力可能ですが、仕訳を確定すると伝票番号が消えていたのを、入力した場合は書き込むように対応しました。
- ・ 簡易課税マスターで、事業区分が『その他』・『不動産』の場合、仕訳入力の金額欄で金額を入力後に Enter キーを押すと、消費税ダイアログの売上区分にカーソルが止まらず摘要欄に移動していたので、売上区分に止まるように修正しました。

## 2) 元帳検索

- ・ 元帳検索画面で相手科目を訂正し、Enter でカーソルを進めていくと、次の仕訳にカーソルが進まずに同一行の日付に戻るケースがあったのを修正しました。
  - \* 「マルチウィンドウを有効にする」にチェックを付けている。
  - \* 消費税が課税属性の仕訳を修正している。
  - \* [F11 貸借修正] は行っていない。

## 3) 新規会社登録・修正・削除

- ・ 減価償却 d b と同居している社会福祉法人マスターの場合、消費税設定のチェックを行わないようにしました。経理処理を変更した場合に下記のメッセージを表示していましたが、減価償却 d b (社会福祉法人) には消費税設定が無く変更できないためチェック対象から外しました。



## II. 出力

### 1) 消費税仕訳帳

- ・ 固定資産科目の消費税仕訳帳を出力した際、当該科目の金額発生がある最終月に不課税や非課税の仕訳があると、最終月の月計表示の《取得》《譲渡》の表示がおかしくなっていたのを修正しました。

以上